

❁□■□■□❁□■□■□■□❁□■□■□■□❁□■□■□■□❁  
メールニュース 1月号 理研バイオリソースセンター実験植物開発室  
❁□■□■□❁□■□■□■□❁□■□■□■□❁□■□■□■□❁

このメールは、最近リソースの請求をされた方、技術研修に参加された方、及び展示会等にて実験植物開発室からのメールニュースを希望された方を対象に送信しています。配信不要の方はお手数ですが、 [plant@brc.riken.jp](mailto:plant@brc.riken.jp) までご連絡ください。

-----● パブリックコメントのお知らせ ●-----

「名古屋議定書に係る国内措置のあり方検討会報告書（案）」について、環境省がパブリックコメントを実施しています。名古屋議定書は研究用リソースにも適用されますので、ぜひ報告書（案）の内容をご確認ください。（期間：平成25年12月27日（金）より平成26年1月24日（金）まで）

<http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=195130069&Mode=0>

-----● シロイヌナズナ野生系統のスクリーニング用プールを公開しました ●-----

シロイヌナズナ野生系統は、植物の環境適応や進化を研究するうえで有用なリソースと考えられています。理研 BRC では野生系統の遺伝型と表現型の情報を搭載したデータベースを試験的に公開しています。

<http://plant.rtc.riken.jp/J/>

また昨年 6 月には遺伝型情報をもとに選抜した 100 系統のセットを公開しています。

<http://epd.brc.riken.jp/archives/2126>

このたびスクリーニングを目的としたリソースとして、保有する野生系統の種子を混合したプールの提供を開始しましたのでお知らせします。利用者が本リソースから選抜した個体を対象に、遺伝型解析による系統同定サービスもあわせてご利用いただけます。野生系統に内包される多様性を活用して研究の展開を図る際にはぜひご検討ください。

<http://epd.brc.riken.jp/archives/2342>

今春には主な野生系統を標準系統（Col, Ler）と交配した F2 種子の提供も始める予定です。またシロイヌナズナ近縁種の情報整備も進めており、成果がまとまりましたらコミュニティに公開して参ります。多様性を活かすリソースの整備にご期待ください。

-----● テクニカルサポート (No. 9) : シロイヌナズナ野生系統の栽培 ●-----

シロイヌナズナの野生系統リソースの第 2 回は、野生系統の栽培における注意点についてご説明します。

\*シロイヌナズナの野生系統リソースの第1回の記事は次のアドレスから参照できます。

<http://epd.brc.riken.jp/wp-content/uploads/mailnews/20131220.pdf>

① 発芽条件

野生系統の種子の休眠の深さは多様です。例えばプールされた野生系統の種子を播種する場合、発芽をそろえたい場合は、長めの低温処理を行ってください。長めの低温処理によって表現型（花芽の形成時期）などにも影響を与える場合がありますので、研究目的によってご判断ください。低温処理について具体的には播種直後のプレートを2週間冷蔵庫で保存するなどの処理を行ってください。

## ② 成長速度と個体サイズ

野生系統の中には Columbia や Landsberg erecta など標準とされる系統と比べてロゼット葉の展開速度やサイズが異なる系統が存在します。数週間以上栽培する場合には、栽培ポットのサイズや測定・サンプリングの時期について検討が必要です。

## ③ 花芽形成

野生系統の花芽誘導条件にも大きなバリエーションが存在します。当室のリソース中には50週以上経過しても開花・結実に至らない系統も含まれます。生殖成長期の表現型を解析する場合には、予めご留意願います。

野生系統は多様性が高く栽培にも注意が必要ですが、それだけに標準系統単独では得られない情報も含まれています。実験植物開発室では野生系統の情報を以下のサイトより公開しています。採集地などの基本情報以外にも、成長途中の写真や遺伝型の情報、耐塩性試験の写真などを閲覧できますのでご活用ください。なお、本データベースはまだ開発途上ですが、試験的にコミュニティに公開しています。お気づきの点やご要望がありましたら開発室まで連絡お願いいたします ([plant@brc.riken.jp](mailto:plant@brc.riken.jp))。

<http://plant.rtc.riken.jp/J/>

リソースの寄託や提供に関わるご相談、ご質問は、お気軽に下記メールアドレスにお送りください。また年度末にご移動やご退官を控えておられる場合には、お手持ちのリソースの滅失防止と有効活用についてぜひご検討をお願いいたします。当室までご一報いただければ、寄託等の手続きのご案内をさしあげますのでどうぞご活用ください。

コミュニティの皆様には旧年中たいへんお世話になりました。新年もよろしく願っています。

❀\*:・'。❀°'・\*:。❀.:\*:・'。❀。.:\*:。.:\*❀

理化学研究所バイオリソースセンター  
実験植物開発室 提供係  
〒305-0074 茨城県つくば市高野台3-1-1  
TEL 029-836-9067/FAX 029-836-9053  
MAIL [plant@brc.riken.jp](mailto:plant@brc.riken.jp)  
HP <http://www.brc.riken.jp/lab/epd/>

❀\*:・'。❀°'・\*:。❀.:\*:・'。❀。.:\*:。.:\*❀